

**あなたの未来を切り開く**

**GSPA**



2020年 5月

青山学院大学大学院  
会計プロフェッション研究科

# 会計プロフェッションの役割が拡充

2

- 現代のグローバル経済社会では、会計の役割は拡大・拡充の一途を辿っています。
- それは、すべての人々が、豊かな経済社会を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的・安定的に維持することを可能にする社会的装置の1つとして会計が位置づけられているからです。
- ◆ したがって、会計では**財務的な側面**のほかに、**環境や社会的な側面**を取り扱う必要性が生じ、**会計プロフェッションの活躍の場は飛躍的に増大**しています。
- 本学のスクールモットーは、「地の塩、世の光」。「**地の塩**」は、腐れを防ぎ、清める役割を果たすため、隠し味的に目立たぬ行いで社会的責任を果たすことを意味する。「**世の光**」は、燈台の灯のように導き、明るさや滋養を与える希望の光として、社会を照らすことを意味します。この**スクールモットーは、まさに「会計プロフェッション」に求められる資質に他ありません。**

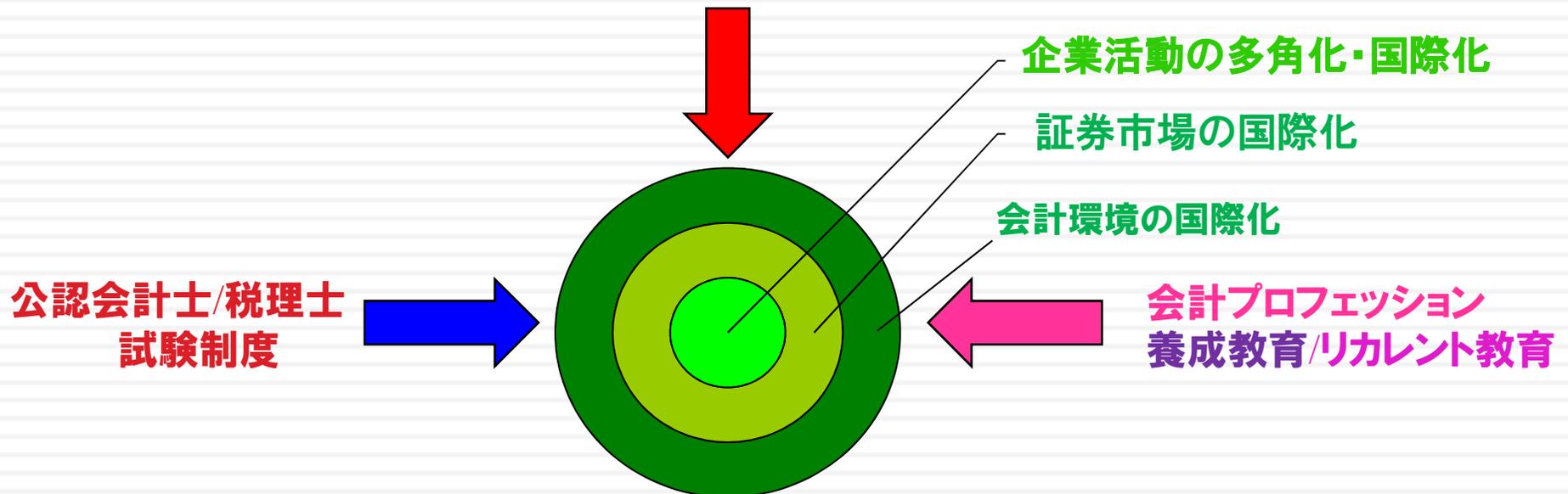
# 会計を取り巻く国際環境

## Trinity Revolution in Accounting Profession

「国際化」の意味するものは？ International ? Global ?

財務報告基準の統一 ⇒ 会計専門職資格の相互承認 ⇒ 会計教育の国際的認証評価制度

国際財務報告(IFRS)



# 青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科(GSPA)

4

- 2005年4月、会計専門職大学院として発足。以来、公認会計士や税理士をはじめ、企業や官公庁などで活躍する会計プロフェッション(会計専門職業人)を幅広く育成。

GSPAでは、キリスト教理念に基づく教育の実現を理念に掲げ、高度な**職業倫理性**と**国際人としての資質**を十分に備えた、「**考える会計学**」を**実践できる**会計プロフェッションを養成しています。

# GSPAの会計プロフェッション

5

- 国家資格としての会計プロフェッション
  - 公認会計士:会計監査の専門家。企業の決算書が適正に作成されているかどうかを検証する。
  - 税理士:税の専門家。税務申告書の作成・提出や税務相談などを行う。
- 公務員としての会計プロフェッション
  - 国税専門官:税務申告の調査や検査、脱税の調査などを行う。
  - 会計検査院検査官:省庁、特殊法人、独立行政法人などの会計検査を行う。
  - 金融庁、財務省での会計エキスパート
- 企業や組織内での会計プロフェッション
  - CFO(最高財務責任者)、経理・財務部門、広報・CSR部門、IR部門でのエキスパート
  - 内部監査人、監査役
- 研究者としての会計プロフェッション

# GSPAの年間予定 (2020年度の学事暦)

6

## □ 前期講義日程

講義期間:4月6日(月)~7月25日(土)

期末試験:7月27日(月)~8月1日(土)

(4月29日(水)は、祝日ですが講義を行う)

## □ 後期講義日程

講義期間:9月14日(月)~1月22日(金)

期末試験:1月23日(土)~1月29日(金)

(9月21日(月)は、祝日ですが講義を行う)

(12月23日(水)~1月8日(金)は冬休み期間)

専門レベルと学習環境に合わせて  
1年制・1年半制・2年制から選択

★会計監査プログラム： 会計監査修士(専門職)

★税務マネジメントプログラム：税務マネジメント修士(専門職)

◆ 一定の条件を満たせば、2つのプログラムを3年で修了可能

# GSPAコース概要

8

修了年限	キャリアデザイン・コース 2 年制	キャリアアップ・コース 1 年半制	リカレント・コース 1 年制
対 象	学部卒見込者、既卒者	会計・税務の実務経験 3 年以上	日米の会計士、税理士、弁護士等の有資格者（試験合格のみの者を含む）
プログラム	<b>会計監査プログラム・税務マネジメントプログラム</b> (各プログラムの内容は、研究科 HP をご覧ください。)		
修了要件	50 単位以上 (修士論文は選択必修)	36 単位以上 (リサーチ・ペーパーは選択必修)	30 単位以上 (アカデミック・リサーチは必修)
授与学位	<b>会計監査修士（専門職）または税務マネジメント修士（専門職）</b>		
開講時間	昼夜開講	昼夜開講（平日夜間・土曜・集中講義（土日）だけでの通学も可能）	
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計の専門知識を活かした職業選択に役立つカリキュラム</li> <li>・企業法を除く会計士短答式試験科目の免除に対応</li> <li>・修士論文の提出により税理士試験科目の免除（会計 1 科目または税法 2 科目）に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人の学び直しに最適のカリキュラム</li> <li>・リサーチ・ペーパーの提出により税理士試験科目の免除（会計 1 科目または税法 2 科目）に対応</li> <li>・企業法を除く会計士短答式試験科目の免除に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業会計人の学び直しに最適のカリキュラム</li> <li>・事例研究による最新実務のフォローアップ</li> <li>・アカデミック・リサーチの作成による 最新理論のフォローアップ</li> </ul>
入学時期	2021 年 4 月	2020 年 9 月、2021 年 4 月	2020 年 9 月
入試形態	2 年制、留学生、学内進学、飛び級、修士	キャリアアップ入試／1.5 年制入試	リカレント入試／1 年制入試

# GSPAの週間日程

9

春休み 夏休みの集中講義 土曜と日曜  
授業期間中の日曜の集中講義 前期 後期

		月	火	水	木	金	土
1限	9:00 ~10:30						
2限	11:00 ~12:30						
3限	13:20 ~14:50						
4限	15:05 ~16:35						
5限	16:50 ~18:20						
6限	18:30 ~20:00						
7限	20:10 ~21:40						



平日昼間カリキュラム



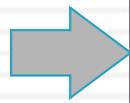
夜間土曜カリキュラム

# キャリアデザイン・コース2年制

## 修了要件:50単位

10

入学



必修科目 16単位	プログラム 選択必修科目 10単位	選択科目 16単位※1 ※2
演習科目(必修) 8単位		

※1 修士論文審査に合格して入学した場合:研究指導 8単位+修士論文2単位が必修(入学後に変更不可)。その場合、選択科目は6単位。

修了



※2 MBA、法学研究科ビジネス法務専攻の指定科目の中から選択可能

入学前	会計学入門コース	修了後
	USCPA受験支援講座	
	特別演習講座(会計士試験対策, 税理士試験消費税法対策)	

# キャリアデザイン・コース2年制 カリキュラム

11

必修科目 (両プログラム共通)	会計監査プログラム プログラム選択必修科目	税務マネジメントプログラム プログラム選択必修科目	選択科目 (両コース共通)
職業倫理	会計基準 I	租税法総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目及び所属プログラム選択必修科目として修得した以外の科目</li> <li>・MBA、法学研究科ビジネス法務専攻の指定科目</li> </ul>
財務会計 I	財務分析 I	法人税法 I	
財務会計 II	監査論 II	所得税法	
税務会計	会計士実務	財務管理 I	
管理会計 I	監査事例研究 I・IIのうち、いずれか1科目	租税法事例研究 I・IIのうち、いずれか1科目	
管理会計 II	財務諸表		
監査論 I	アドバンス会計 I		
企業法総論	アドバンス会計 II		
演習 I～IV	アドバンス会計 III		
※1 修士論文			
※1 研究指導 I～IV			

# 修士入学制度について

12

- 2年制コース(他会計専門職大学院を含む)で修士論文を作成した修了生は、2年制コースに再入学して、所定の成績要件を満たすことで**短期修了(1年又は1年半)**が可能。
- 会計監査修士と税務マネジメント修士の2つの学位を取得することにより、それぞれの学位ごとに税理士試験の科目免除(税法または会計学)を申請することが可能。

# キャリアアップ・コース1年半制

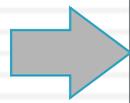
## 修了要件:36単位

13

※1 リサーチ・ペーパー審査に合格して入学した場合、リサーチペーパーⅠ～Ⅲの6単位が必修(入学後に変更不可)。

※2 MBAと法学研究科ビジネス法務専攻の指定科目の中から選択可能

入学



必修科目 12単位	プログラム 選択必修科目 14単位 ※1	選択科目 4単位 ※2
演習科目(必修) 6単位		
USCPA受験支援講座		
特別演習講座(会計士試験対策、税理士試験消費税法対策)		



修了

入学前

修了後

# キャリアアップ・コース1年半制 カリキュラム

14

必修科目 (両プログラム 共通)	会計監査プログラム プログラム選択必修科目	税務マネジメント プログラム プログラム選択必修科目	選択科目 (両コース共通)
職業倫理	財務諸表	租税法総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目及び所属プログラム選択必修として修得した以外の科目</li> <li>・MBA、法学研究科ビジネス法務専攻の指定科目</li> </ul>
財務会計Ⅰ	会計基準Ⅰ	法人税法Ⅰ	
財務会計Ⅱ	国際会計Ⅰ	所得税法	
管理会計Ⅰ	監査論Ⅱ	財務管理Ⅰ	
管理会計Ⅱ	監査事例研究Ⅰ・Ⅱのうち、いずれか1科目	租税法事例研究Ⅰ・Ⅱのうち、いずれか1科目	
監査論Ⅰ	アドバンス会計Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのうち、いずれか1科目		
演習Ⅰ～Ⅲ	会計事例研究Ⅰ・Ⅱのうち、いずれか1科目		
	企業法総論		
※1リサーチペーパーⅠ～Ⅲ			

# 履修例：キャリアアップ・コース1年半制

2020年度の時間割をHPで確認してください。

15

春夏の集中講義 土曜と日曜で最大で8単位  
 授業期間中の日曜の集中講義

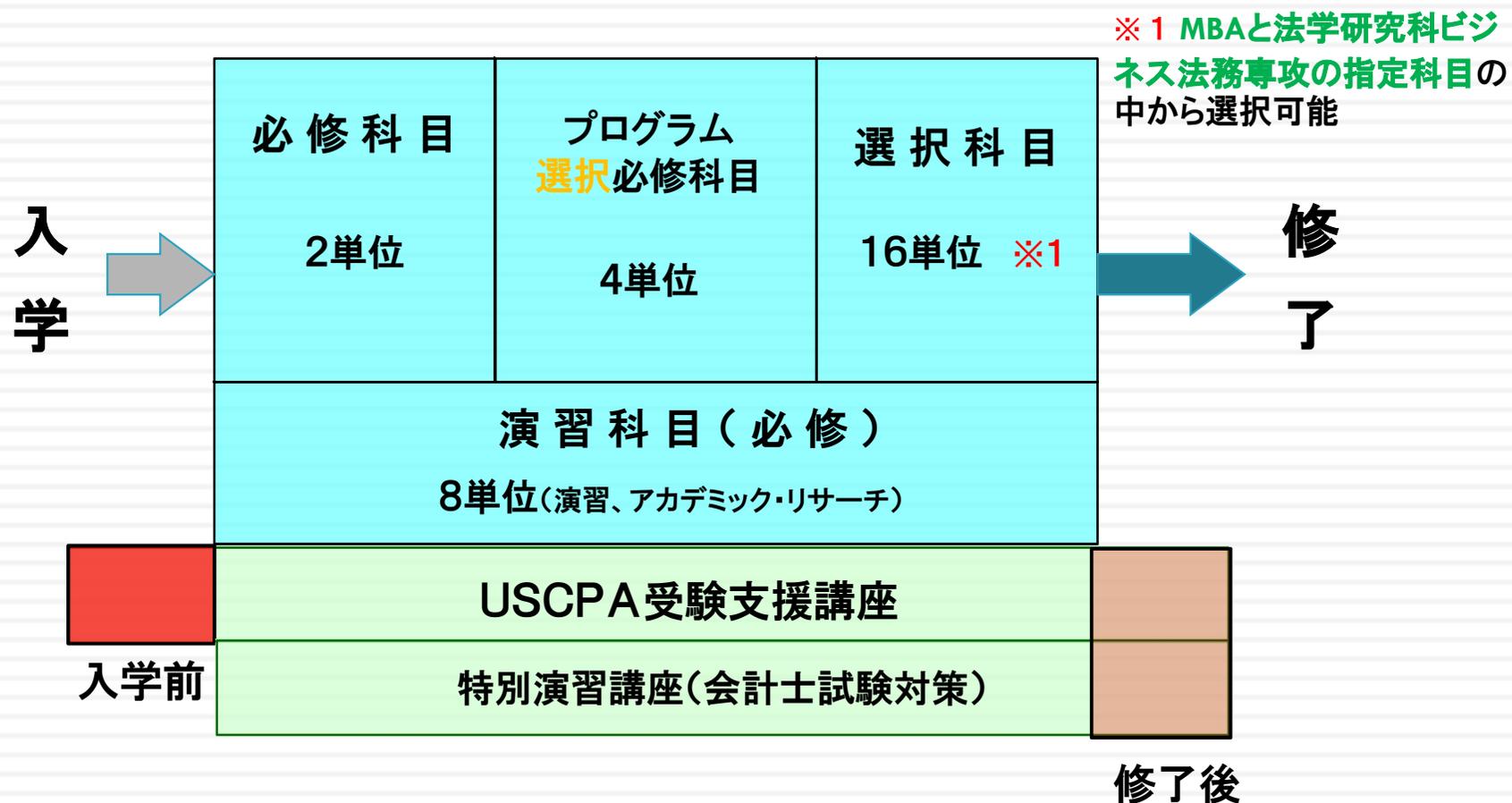
< 平日夜 >		月	火	水	木	金
第1セメ スター	6限 (18:30~)		管理会計 I			演習 I
	7限 (20:10~)		選択必修	監査論 I		リサーチ ・ペーパー I
第2セメ スター	6限				選択必修	演習 II
	7限		管理会計 II		選択科目	リサーチ ・ペーパー II

< 土曜日 >	1限	2限	3限	4限	5限
		9:00 ~10:30	11:00 ~12:30	13:20 ~14:50	15:05 ~16:35
第1セメスター	財務会計 I	職業倫理	選択科目		
第2セメスター	財務会計 II		選択科目	選択必修	

# リカレント・コース1年制

## 修了要件:30単位

16



# リカレント・コース1年制 カリキュラム

17

必修科目 (両プログラム 共通)	会計監査プログラム プログラム選択必修科目	税務マネジメント プログラム プログラム選択必修科目	選択科目 (両コース共通)
職業倫理	会計事例研究Ⅰ	租税法事例研究Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目及び所属プログラム選択必修として修得した以外の科目</li> <li>・MBA、法学研究科ビジネス法務専攻の指定科目</li> </ul>
	会計事例研究Ⅱ	租税法事例研究Ⅱ	
	監査事例研究Ⅰ	管理会計事例研究Ⅰ	
	監査事例研究Ⅱ	管理会計事例研究Ⅱ	
	企業法事例研究Ⅰ		
演習Ⅰ・Ⅱ	企業法事例研究Ⅱ		
アカデミック・ リサーチⅠ・Ⅱ			

# 履修例：リカレント・コース1年制

2020年度の時間割をHPで確認してください

18

春夏の集中講義 土曜と日曜で4単位  
 授業期間中の日曜の集中講義 最大で8単位

< 平日夜 >		月	火	水	木	金
第1セメ スター	6限 (18:30~)			選択必修		演習 I
	7限 (20:10~)			選択科目		アカデミック ・リサーチ I
第2セメ スター	6限			選択必修		演習 II
	7限			選択科目		アカデミック ・リサーチ II

< 土曜日 >	1限	2限	3限	4限	5限
	9:00 ~10:30	11:00 ~12:30	13:20 ~14:50	15:05 ~16:35	16:50 ~18:20
第1セメスター		職業倫理	選択科目	選択科目	
第2セメスター			選択科目	選択科目	

# 充実したサポート体制

19

- 自習室(元旦以外の午前8時～午後11時半利用可能)
- 専用のロッカー
- 特別演習講座の設置
  - 会計士試験(短答式:会社法、論文式試験)、税理士試験(消費税法)、USCPA試験に対応する受験支援講座を設置。
  - 会計士試験受験対策講座については、**修了後も受講可能**
  - USCPA試験支援講座は**入学前と修了後も受講可能**
- 会計サミット(毎年7月開催)&シンポジウム(同窓会との共催で毎年12月開催)
  - ホット・トピックについて、各界を代表するオピニオンリーダーによる講演と討論会

# GSPA修了生に対するサポート

20

修了後も、継続的に、キャリア形成・スキルアップができるように、さまざまな機会を用意し、サポートしています。

- 「科目等履修生」制度
- USCPA支援講座
- 公認会計士試験対策講座
- 税理士試験対策講座(消費税法)
- 修士入学制度
- 履修証明プログラム「税理士特設講座」(研修単位)
- 会計サミット、シンポジウム

詳細は、GSPAのホームページを参照してください。  
(TOPページ → 「GSPA修了生の方」)



GSPAホームページ  
QRコード

# リカレント入試・キャリアアップ入試 2年制入試(7月入試)

21

出願資格審査期限	2020年 6月 12日(金)
出願期間	2020年 6月 18日(木)～ 7月 1日(水)
入学試験日	2020年 7月 12日(日)
合格発表	2020年 7月 16日(木)
最終入学手続日	2020年 7月 29日(水)

# リカレント入試・キャリアアップ入試(8月入試)

22

出願資格審査期限	2020年 7月 10日(金)
出願期間	2020年 7月 16日(木)～ 7月 29日(水)
入学試験日	2020年 8月 8日(土)
合格発表	2020年 8月 13日(木)
最終入学手続日	2020年 8月 25日(火)

# リカレント入試出願書類(抄)

※詳細は、HP掲載の「2020年9月入学者対象入試要項」P4をご覧ください。

23

## 出願書類

- (1)入学志願票(本学所定用紙)
- (2)写真票(本学所定用紙)
- (3)入学検定料の「収納証明書」または「振込通知書(大学院提出用)」
- (4)最終学歴の成績
- (5)最終学歴の卒業証明書または卒業見込証明書
- (6)出願資格を満たしていることを証明する書類
- (7)入学志望理由書(本学所定用紙)

\*本研究科に入学後にどのようなことを研究したいのかについて1,500字程度。ワープロ等で作成の場合は、所定の枠内に貼付してください。

- (8)所属組織の直属上司の推薦書(書式自由(作成者の押印または署名が必要)、任意提出)
- (9)住民票及びパスポートの写し(いずれも外国籍の方のみ)

# キャリアアップ入試出願書類(抄)

※詳細は、HP掲載の「2020年9月入学者対象入試要項」P6-7をご覧ください。

24

## 5. 出願書類

- (1) 入学志願票(本学所定用紙)
- (2) 写真票(本学所定用紙)
- (3) 入学検定料の「収納証明書」または「振込通知書(大学院提出用)」
- (4) 最終学歴の成績証明書
- (5) 最終学歴の卒業証明書または卒業見込
- (6) 3年以上の勤務歴を証明する書類
- (7) 職務経歴書(書式自由)

\* 会計・税務等に関連する実務経験であることが確認できるように、担当部署や担当業務について、雇用形態(正規・非正規)も含め、作成してください。

## (8)入学志望理由書(本学所定用紙)

＊本研究科の志望理由・自己アピール等について 1,500 字程度(リサーチ・ペーパー希望者は 1,000 字程度)。ワープロ等で作成の場合は、所定の枠内に貼付してください。

## (9)リサーチ・ペーパー研究計画書(本学所定用紙)

＊「リサーチ・ペーパー希望者審査」での出願者のみ提出してください。3,000 字程度。ワープロ等で作成の場合は、所定用紙にホチキス止めしてください。

(10)所属組織の直属上司の推薦書(書式自由(作成者の押印または署名が必要)、任意提出)

(11)住民票及びパスポートの写し(いずれも外国籍の方のみ)

# 2年制入試出願書類(抄)

※詳細は、HP掲載の「2020年4月入学者対象入試要項」(前年度参照)P4-5をご覧ください。

26

## 出願書類

- (1)入学志願票(本学所定用紙)
- (2)写真票(本学所定用紙)
- (3)入学検定料の「収納証明書」または「振込通知書(大学院提出用)」
- (4)最終学歴の成績証明書
- (5)最終学歴の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書
- (6)入学志望理由書(本学所定用紙)

＊本研究科の志望理由、自己アピール等について、1,000字程度。ワープロ等で作成の場合は、所定の枠内に貼付してください。

## **(7)修士論文研究計画書(本学所定用紙、「修士論文希望者審査」の受験生のみ)**

**\*1,000字程度。ワープロ等で作成の場合は、所定の枠内に貼付してください**

## **(8)推薦書(書式自由、可能であれば提出するのが望ましい)**

**\*ゼミ担当教員または単位を修得した科目の担当教員か、所属組織の直属の上司による推薦書**

## **(9)住民票及びパスポートの写し(いずれも外国籍の方のみ)**

# Managing Change    Changing Management

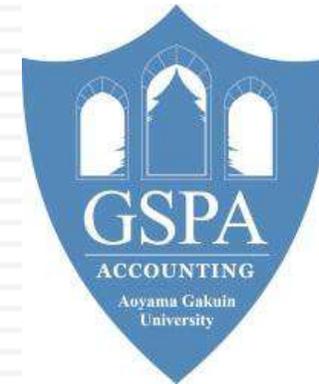
変化を管理し    経営を変化させる

青山学院大学大学院

会計プロフェッション研究科

Aoyama Gakuin University

Graduate School of Professional Accountancy



<http://www.gspa.aoyama.ac.jp/>

お問い合わせ先

青山学院大学学務部専門職大学院教務課  
会計プロフェッション研究科担当

Tel :03-3409-8025

# 入試説明会専用のメールアドレス

29

- [admission@gspa.aoyama.ac.jp](mailto:admission@gspa.aoyama.ac.jp)
- 入試に関することを問い合わせただけであれば、担当者から、返信します。
- また、個別相談のアポイントの調整も致します。